

第94期中間事業報告(2020年9月)の中でご報告致しました通り、現在作成中の「中期計画21-24」の概要を発表致します。この「中期計画21-24」は、創業90年に作成した「チャレンジ90」(2018年2月)を基盤として継承し、次なる創業100周年に向けて当社が目指す方向性と実行計画をより具体的に定めるものです。

尚、「中期計画21-24」は、第94期決算発表(2021年2月予定)と同時に発表させていただきます。

日本精蠟株式会社  
代表取締役社長 安藤 司

# 次期中期計画 (21-24) 骨子

2020年12月17日

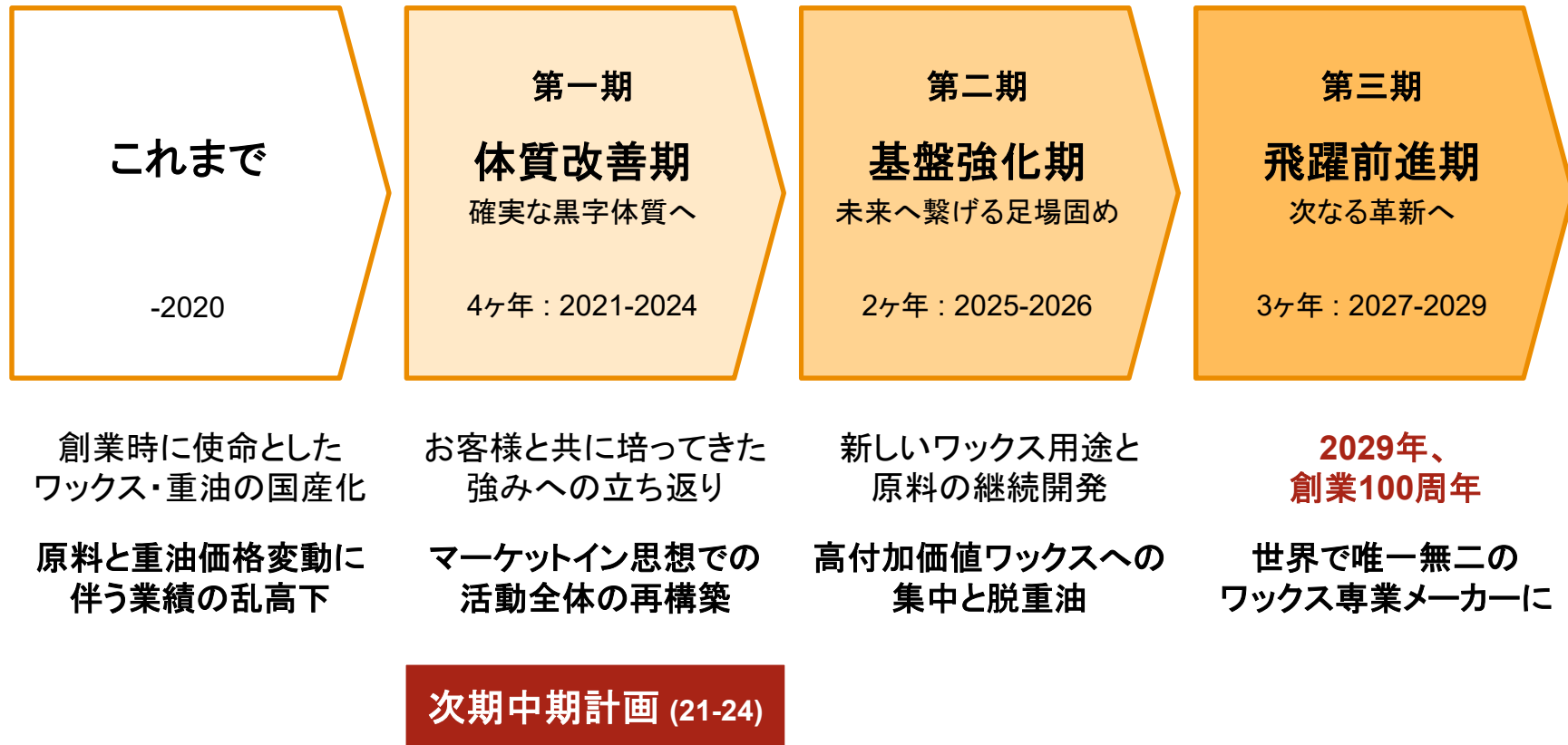
# 創業 100周年を見据え

2029年、当社は創業100周年を迎えます。

- 日本精蠟は、わが国で唯一のワックス総合メーカーとして、1929年の創業以来、お客様と共に新しいワックスの用途や素材を開発しつづけてきました。
- 紙・繊維・建材、また化粧品や医薬品など、当社製品は、暮らしの中のごく身近な生活用品に使われており、国内ワックス市場での当社シェアは7割を誇ります。
- 持続的成長を目指す世界の動きの中で、環境・社会のサステナビリティを支える一員として、“天然素材ワックス”をこれからも追求していきます。
- そしてそのために、創業の地である徳山工場の機能を徹底的に強化し、社会やお客様へのより大きな貢献を果たしていきます。
- “NIPPON SEIRO” ブランドを徳山から世界へ、2021年2月公表予定の次期中期計画 (21-24) の骨子をお届けします。

# 本計画の位置づけ

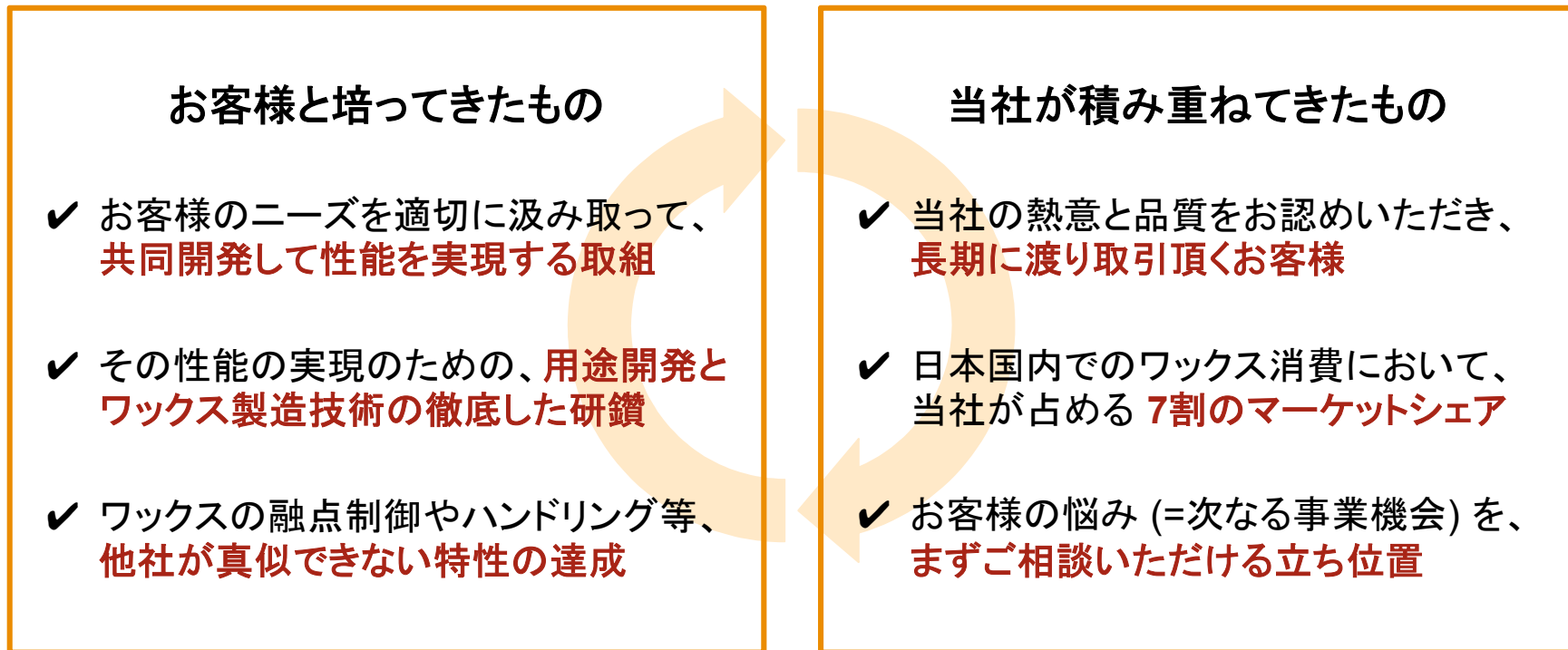
創業100周年を見据え、次期中期計画 (21-24) では徹底した体質改善を図ります



本計画期間で事業活動全体を再構築し、確実な黒字体質を実現します

# 日本精蠟の強み

当社の強みは、ワックスの新たな用途・製品・原料を開拓し続ける力にあります

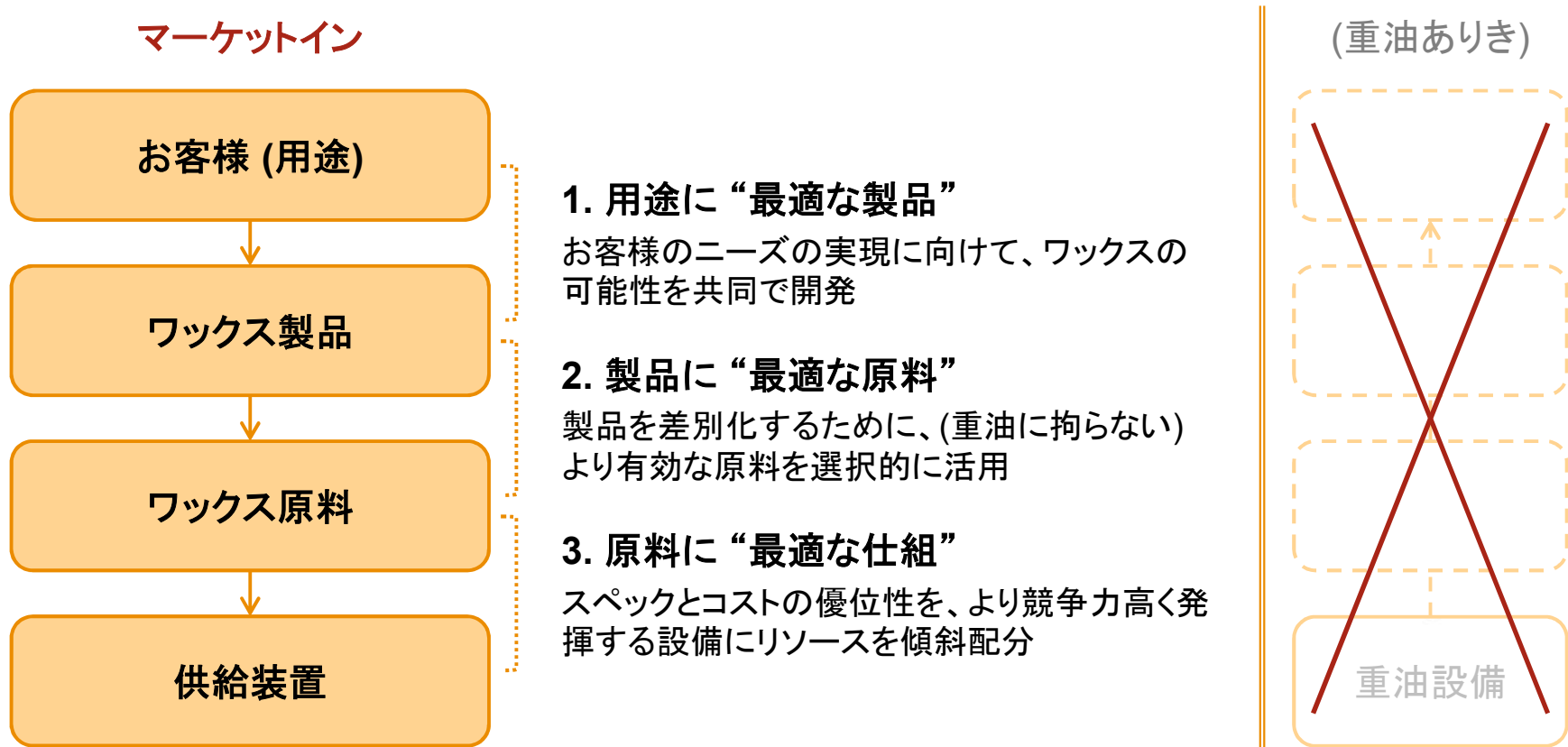


折々の用途にワックス技術で挑戦し、次の新たなビジネスを産む正の循環構造

ワックス専門メーカーとして、この“正の循環”を回しつづけます

# 次期中期計画 (21-24) の骨子

重油ありきの発想を排し、当社活動全体をマーケットイン思想に切り替えていきます



マーケットが求める、差別化された競争力あるワックス製品に集中します

# 1. 最適な製品 (1/2)

当社はお客様と共にこれまで、さまざまなワックスの用途と製品を開発してきました

## ろうそく

融点の異なるワックスの組合せ  
折れず・焦げず・真っ白

## 食品

安全・無害 (天然ワックスの特性)  
噛み心地向上や鮮度の維持

## 接着剤

熱して融け、冷やし固まる特性  
速乾接着・容易に剥がせる

## 化粧品

多種類のワックスの配合・乳化  
持続的な発色性や保湿性

## 通信ケーブル

電気特性・防水性の高いワックス  
耐水充填で長寿命化

## 医療

形状保持性・安定性の高いワックス  
検体加工・標本化の効率化

## 結着材

不純物の少ない焼結結着材  
超硬金属等の加工補助

## 肥料

撥水性の高いワックスでコート  
雨が降っても流れない

## 土壌

生分解性を有するワックス紙  
プラスチック0の防草・土壌病予防

当社事業の基盤として、一つ一つが積み上げられています

# 1. 最適な製品 (2/2)

大きな柱として、タイヤとプリンタートナー用途の更なる拡大に注力しています

## タイヤ

ゴム製品表面に被膜を形成して  
オゾンを遮断するワックス

**幅広い利用環境に適応した  
老化防止と長寿命化**

## プリンタートナー

特定の温度帯でのみ融解して  
即時に固形安定するワックス

**印刷時・印刷後に  
滲まない・かすれない**

世界で戦うお客様を、差別化された競争力あるワックスで支援します



## 2. 最適な原料

ワックス製品の差別化・競争力強化のため、原料と重油の新たな取組みを進めています

1

### 原料の開発

- **必要ワックス成分起点での原料選択**  
お客様用途に適する製品に必要なワックス成分をより効率的に抽出できる新しくかつサステナブルな原料を開発 (スラック・FT・ライスワックス等)

2

### 在庫負担の軽減

- **共同購買での重油在庫負担軽減**  
石油大手複数社と共同調達のうえ、ワックス成分抽出後の高品質な残留重油は当該パートナーに戻すスキームで販売先をあらかじめ確定

3

### 油価影響の低減

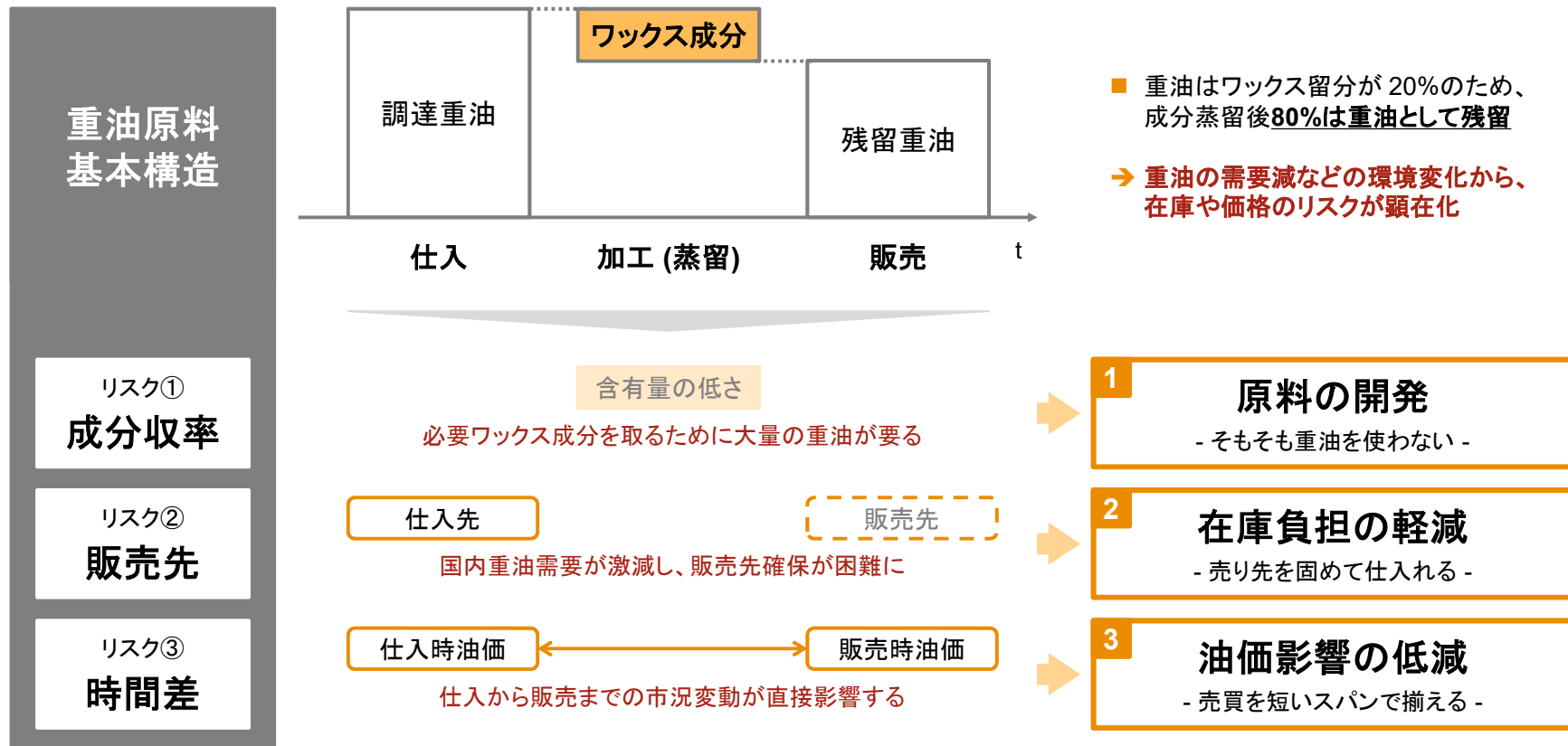
- **バランス管理導入での油価変動影響低減**  
重油原料の調達およびワックス成分抽出後の残留重油の販売において、価格が決まる時期と数量を一定枠内でバランスさせ市況の影響を低減

必要ワックス成分確保の効率性を軸として原料取扱のあり方を刷新します

## 2. 最適な原料

《参考》重油のリスク側面

かかる取組は、これまで主原料だった重油への依存が孕むリスクも低減するものです



サステナビリティの潮流も踏まえ、中長期的には“脱重油”を目指します

### 3. 最適な仕組

マーケットインを徹底すべく、企業活動のあらゆる側面を変革していきます

#### 調達・生産

設備高度化・効率化による  
差別性と競争力の強化

- ✓ 顧客ニーズの高度化に対応すべく、**新製法** (分子蒸留 等)、**他原料** (スラックワックス・FT) 及び**新素材** (ライスワックス) を重視
- ✓ チャンスを見込む新規用途の強化、コスト競争力の向上を目指し、**新用途設備** (脱油 等) や**自動化設備**の増強へ投資を優先的に充当

#### 営業・マーケティング

新たな用途・製品開発による  
収益源積上と事業規模拡大

- ✓ 顧客ニーズの発掘・共同開発、技術力を生かした用途/素材開発を一層推進すべく、営業部門と開発部門を統合し**開発・営業部を設置**
- ✓ 安全性強化に加え、研究開発の効率性を高めるため、各地に点在していた研究開発機能を、徳山工場に新設する**研究試験棟に集約**

#### 経営基盤

次期中計の実行を確実にする  
適切なプロセス・体制の整備

- ✓ 重油購買等の際し構成されている社内規定の厳密な運用のため、新たに**監査部を設置**しチェック体制を強化
- ✓ 設備投資等のリソース傾斜方針 (次世代投資重視) 適正化のため、**リスク・リターンの見極め**を強化

次期中期計画期間で、将来に渡る安定した収益構造を確立します